

「nano tech 2017」 NEDO ブースに出展ー

「熱可塑性 CFRP による自動車軽量化への挑戦」が

「nano tech 大賞 2017」プロジェクト賞（グリーンナノテクノロジー部門）を受賞

「国際ナノテクノロジー総合展・技術会議（nano tech 2017）」が2017年2月15～17日、東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催されました。新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）ブース内の構造材料エリアに、ISMA から本部と4分室が出展しました。

名古屋大学集中研分室（国立大学法人名古屋大学）は「熱可塑性 CFRP による自動車軽量化への挑戦」と題して出展し、熱可塑性 CFRP で試作したサイドフレーム・アウトとフロアパネルを展示しました。

同展示は、自動車の大幅な軽量化につながる成果が評価され、出展者の中から斬新かつ先駆的な技術・製品が選出される「nano tech 大賞 2017」のプロジェクト賞（グリーンナノテクノロジー部門）を NEDO ブースとして受賞しました。



表彰を受ける名古屋大学の石川隆司教授（右）

その他、ISMA 本部と組合員による出展は以下の通りです。

【軽量構造材料で輸送車両の燃費を改善】

本部がパネルを展示

【溶接の常識を変える 超ハイテン鋼のフリクシオンスポット接合】

明石分室（川崎重工業株式会社）が接合ツールと接合サンプルを展示

【軽量船舶のための CFRP/鋼材複合部材（強度試験用複合構造部材）】

横浜磯子分室（株式会社 IHI）が複合柱構造部材と複合 I 桁構造部材を展示

【難燃性マグネシウム合金による高速鉄道車両部分パネルの開発】

横浜金沢分室（株式会社総合車両製作所）が高速鉄道車両の部分構体を展示

〔関連リンク〕

NEDO | 「nano tech 2017」への出展

[http://www.nedo.go.jp/events/EF\\_100065.html](http://www.nedo.go.jp/events/EF_100065.html)